

県民意見整理台帳

1 件名

「第12次神奈川県職業能力開発計画（素案）」に対する県民意見及び県民意見に対する県の考え方

2 意見の募集期間

令和7年12月16日（火）～令和8年1月14日（水）

3 意見提出者数・意見提出件数

(1) 意見提出者数 78人

(2) 意見提出件数 104件

※ 複数意見を提出していただいた方がいたため、「(1) 意見提出者数」と「(2) 意見提出件数」は一致しません。

意見区分	延べ件数
① 計画全般への意見	29件
② 実施目標Ⅰ「産業構造の変化と技術革新の進展等に適応した人材育成の推進」に関わる意見	21件
③ 実施目標Ⅱ「労働者の特性を踏まえた職業能力開発の推進」に関わる意見	15件
④ 実施目標Ⅲ「職業生活と学校生活等を通じた主体的なキャリア形成の支援」に関わる意見	11件
⑤ 実施目標Ⅳ「ものづくり産業の持続的発展と技能の振興及び継承」に関わる意見	7件
⑥ 実施目標Ⅴ「職業能力開発推進体制の充実と情報発信の強化」に関わる意見	7件
⑦ その他	14件
合計	104件

4 提出していただいた意見に対する県の考え方の概要

反映区分	延べ件数
A 意見の趣旨を計画に反映したもの	23件
B 意見の趣旨は既に計画に反映されているもの	37件
C 意見の趣旨は今後の取組の参考とするもの	17件
D 意見の趣旨は計画に反映できないもの	18件
E その他	9件
合計	104件

神奈川県 産業労働局 労働部 産業人材課

① 計画全般への意見

※1 意見の要旨は原則として原文のままですが、個人情報等に係る記載を除いている場合があります。

※2 意見の要旨中に掲げるページは意見募集時のものであり、公表した計画のページと異なっている場合があります。

意見番号	意見区分	意見の要旨	反映区分	県の考え方(案)
1	①	<p>当社の取り扱い製品の中に航空宇宙関係の製品が含まれており、且つモノづくりを行う職種について人員不足を抱えているため、教育プログラムには非常に興味があります。</p> <p>また、当社の製造部門で扱う工作機械の中にはプログラムを組み、ロボットなども併用して品物を作り上げることも増えて参りました。</p> <p>昔ながらの工作機械の技術も学びつつ、最先端の技術も取り入れた学習を行った方に関しては、積極的な採用を検討したいと考えております。</p>	B	<p>県としても、基本となる工作機械の技術とともに、最先端の技術習得も重要と考えており、いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標Ⅰに反映しています。</p>
2	①	<p>時代と共に移り変わる、求められている技術を身につけることで、社会から必要とされる人材を育成する。とても良い開発計画であると考えられる。</p>	E	<p>県としても、時代の変遷や社会の需要を見据えた人材育成が重要と考えており、御意見を参考に、施策を推進してまいります。</p>
3	①	<p>計画の基本理念について 「～一人ひとりが輝きながら働ける神奈川～ 人生100歳時代において、働く意欲のあるすべての人が、その培った能力を発揮して、生涯を通じて生き生きと輝きながら働くことができる神奈川の実現を目指します。」とありますが、現実はどうでしょうか。 組織の在り方、組織の若返りと称して、来年度は採用しないといわれました。基本理念と現実の乖離を非常に感じます。</p>	E	<p>多様な方が職業訓練を通じて働くことができるよう、人材育成に係る様々な施策を推進することにより、当該基本理念の実現に向けて邁進したいと考えます。</p>
4	①	<p>実施目標について 目標の方向性は凡そいいと思いますが、期待値だけで背景や環境、越えなければならぬ課題を明確にしていかなければ、絵に描いた餅になると思います。</p>	C	<p>県としても、様々な社会背景や環境の変化に合わせ、都度、課題を明確にし、人材育成を図っていくことが必要と考えます。</p>
5	①	<p>時代に合った素晴らしい計画だと思います。</p>	E	<p>本計画に基づき、時代の変化に即した職業能力開発を推進していきます。</p>
6	①	<p>もっと高校や商業施設などに宣伝や告知などをお願いしたい。</p>	B	<p>県としても、様々な媒体を用いて職業訓練等の更なる認知度向上を図ることは重要と考えており、いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標Ⅴに反映しています。</p>
7	①	<p>前回の11次計画に比べると、写真などが増え、より具体的な内容に踏み込んだようで、わかり易い内容になっていると思います。</p> <p>あまり数値目標にはこだわらずに、本当に求められていることが実現できるよう、現場での実践的な活動推進を期待いたします。</p>	E	<p>本計画に基づき、人材育成の需要を踏まえた職業能力開発を推進していきます。</p>

意見番号	意見区分	意見の要旨	反映区分	県の考え方(案)
8	①	計画の期間について、2026(令和8)年度から2031(令和13)年度までの6年間の計画としますとありますが、P4の県の将来人口推計(中位推計)では、2040年には33.3%となることが見込まれているとあり、本当に深刻な事態を迎えるのはもう少し先になることかと思われます。これについて、当面6年間とした理由、その後についての見通しなどを記載いただくとよりこの取組みへの信頼感が増すものと思えます。	D	第11次計画までは、国の基本計画の策定期間と同時で5年間でしたが、国の公表後にしっかりと計画を見極め、県の情勢に合わせた内容にすることが重要と考え、第12次計画は6年間としています。社会情勢や産業構造は、都度、変化するため、計画策定ごとに、その時代に合った取組を決めています。
9	①	1から5の要素は網羅的で幅広く問題ないのですが、「この6年で何を最優先すべきか」が明示されていません。通常は、Iが最優先で、Vが最下位になるのですが、それで問題ないのでしょうか?このあたり、箇条書きの基本ルールとして、重要なものがI、次がIIで整理されているのか疑問を感じました。DX人材やAI関係、人手不足の分野が、I、IIではないかと素朴に思ったので、ここを整理することで、現場のカリキュラム編成がしやすく、結果・成果の確認にも活かされると思います。	D	本計画に掲げているIからVまでの実施目標は、いずれも重要な要素であり、各取組においても優先度に差はありませんが、求める人材を育成し、企業に送り出すことが職業訓練の役割であることから、実施目標Iの人材育成の推進を最初の項目としています。
10	①	評価尺度、いわゆるKGI/KPIを明示すべきなのかが分からないのですが、何か参考値を入れると良いのではないかと思います。	B	県としても、参考値を示すことは必要と考えていますので、いただいた御意見の趣旨は計画中の成果目標に、参考指標として反映しています。
11	①	時代の変化に即した人材育成を計画の柱に据えている点は、極めて時宜を得たものと評価する。一方で、神奈川県職業能力開発施策は「工業系」に特化しており、県内各地域の産業構造を鑑みると、その偏りに課題を感じる。特に県西地域においては、農林水産業が重要な産業なので、今後の人材育成においては、各職業技術校が培ってきたITや機械・電気等の高度な教育ノウハウを、例えばスマート農業といった分野へ応用・展開することが必要ではないか。省庁や県庁の行政組織の壁を越え、「オール神奈川」で各地域の特色ある産業を支える人材を育成する時期に来ていると考える。柔軟かつ横断的な施策の検討を要望する。	C	求められる人材は、時代の変化や技術の進化とともに変化するため、人材育成を推進するに当たっては、企業が求める人材やスキルを調査するとともに、関係機関と連携し、必要な人材を育成していけるよう、いただいた御意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
12	①	今後、いかにAIを業務で使いこなせるかで100倍以上の生産性ギャップを生むと思います。弊社でも加工条件出しやメール返信、資料作成、生産性向上案等で社員全員がAIを使用しています。AI教育を重要視されるべきであると存じます。	B	県としても、AIの利活用が生産性の向上に大きく影響するものと考えており、いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標Iに反映しています。
13	①	人口減少が進む中、労働力不足がますます顕在化していくことが予想されます。国の報告書の中で、「労働市場及び企業における職務・スキル・処遇・人材開発の見える化」が示されていることから、県の取組においても各労働分野に必要な技能レベルの明確化等、労働者目線での施策を期待したい。	B	県としても、「労働市場及び企業における職務・スキル・処遇・人材開発の見える化」を行うことは重要と考えており、技能レベルの明確化の一つとして技能検定試験等を実施しています。また、スキルや賃金等の関係の見える化について、いただいた御意見の趣旨を計画中の実施目標IVに反映しています。

意見 番号	意見 区分	意見の要旨	反映 区分	県の考え方(案)
14	①	DXの推進、AIの活用、今後の職業能力開発を進めていくには大変重要な課題です。が、中小企業にはなかなか手を出しづらい領域でもあります。産業全体を底上げするには行政の支援、後押しが必要。様々な支援策と併せて、ぜひ強力にすすめてほしいです。	B	県としても、AIの利活用が生産性の向上に大きく影響するものと考えており、いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標Ⅰ及びⅢに反映しています。
15	①	神奈川県内には東西の職業訓練校、短大、ポリテクセンターなど職業訓練、人材育成の機関が多数あるように思います。無料で受講できるしくみも最近知りました。とっても良い制度だと思いました。しかしまだまだ知られていない気がします。せっかく良い取り組みをしているのにもったいないです。このしくみを必要としてしている方はたくさんいるはずですよ。需要はあります！継続してほしいですし、認知度をさらに高める取り組みも継続してほしいと思いました。	B	県としても、職業訓練等をより多くの県民の方に知っていただくことが重要と考えており、いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標Ⅴに反映しています。
16	①	<p>全般的に意味がない計画だと思います。</p> <p>今の日本の労働環境の課題は、小学校から大学院までの教育は「暗記＝学力」という方向に向かっており、それではAIに代替されるようになるだけです。日本人労働者は自滅の道をまっしぐらのように感じます。</p> <p>祝辞には大事なことが幾つか指摘されています。まず、「新しい情報」を得て「次の時代を見すえた世界観」を持ち、議論をする重要性、そして、「新しい時代を築く努力」の大事さ。それに、「「我こそは」と思う人々に溢れて欲しい」と言った中曽根さんの言葉は、2012年から13年経過した今、再び傾聴する価値があると思います。</p> <p>私なら、思い付きですけど、「我こそは」という人に向けて、「職業人マイスター」とか「職業人グランドマイスター」制度とか作って、年間1000人くらい認定しちゃえばいいと思うのです。1人1万円報奨金を出して1000人出しても1000万円、県知事決裁権の範囲内じゃないかと思えますけど。ダメなら経産省から1000万円くらい持ってくる。そして、マイスターになると、県内の小中学校か中小企業で講義をしないとイケないことにする。グランドマイスターは、県立産業技術大学校で講義をすればいい。誰でも1回くらい自分のことについての講義は出来るのですよ。それはマイスターを出した企業にとっても、講義を聞く若い人にとっても刺激になる。</p> <p>日本の労働者は口先だけという人が多いのも課題です。上記の構想も「だったら遣ってくださいよ」と仰るなら、仕事として請け負えるなら、遣りますよ。</p> <p>そのくらいしないとダメだと思います。日本の労働者の目は死んでいるんですよ。目を醒ませないと。</p>	D	<p>県としては、職業能力開発施策を総合的かつ計画的に推進するため、産業構造の変化など、環境の変化に対応した計画を策定する必要性があると考えております。</p> <p>また、国とも連携し、マイスターや熟練技能者を活用し、技能尊重の気風醸成や、高度技術の素晴らしさを伝え、ものづくり産業を担う人材を育成していきます。</p>

意見番号	意見区分	意見の要旨	反映区分	県の考え方(案)
17	①	<p>応募者増加対策について 産技短大：新高卒者などの若年層が主になるため、中高教育にて職業訓練施設の紹介見学の強化を図る。(単なるキャリア教育ではなく「単位」となるよう時間をかければ良さがアピール出来る) 東部校、西部校、神障校： 既卒者や離職者や障害者が主になるため、各ハローワークでの広報活動強化を図る。(職業訓練施設の専門相談窓口を設置していつでも気軽に声を掛けられる雰囲気が必要)</p>	B	<p>産業技術短期大学校や総合職業技術校では、受講することで総合高校の単位として認められる夏季連携講座などの取組や、ハローワークで総合職業技術校等の紹介コーナーや相談ブースを設置してもらうなどの連携を行っており、応募者増加に向けて、今後も様々な取組を行っていきます。いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標Ⅲ及びⅤに反映しています。</p>
18	①	<p>現状として各コースの定員割れが散見される中で、2031年には就職者数や応募人数が一律15%アップ程度の目標となっておりますが、若者や労働人口が減っている中で現実的に可能な水準なのでしょうか。 弊社は情報関連分野の卒業生、修了生を採用していますが、活躍している社員とそうでない社員で二分されています。 目標として明確になりやすいのは人数かもしれませんが、質の面での向上(適正の低い訓練生には別の道を示すなど)も検討いただきたいです。</p>	B	<p>県内中小企業を支援するため、企業が求める人材を一人でも多く輩出することが県の責務と考えます。、いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標Ⅰ、Ⅱ及びⅢに反映しており、人数と質の両面ともに向上できるよう取り組んでいきます。</p>
19	①	<p>計画に書いてあることを、「何処で」、「誰が」進めるのかを分かるようにするためにも、産業技術短期大学校や職業技術校、職業能力開発協会、名工会等の紹介(PR)や、学校の授業内容などをもっと書いた方が良いでしょう。</p>	A	<p>御意見の趣旨を踏まえ、修正しました。</p>
20	①	<p>計画の前提となる資料が先に書かれているが、計画本体が随分後ろになっており、どこからが計画か分かりづらい。そのため、この計画で何をしたいのか、これまでとの違い等を簡潔に記載し冒頭に入れると、読む人が分かりやすくなるのではないかと。</p>	A	<p>御意見の趣旨を踏まえ、本論の前(表紙と目次の間)に新たに第12次神奈川県職業能力開発計画の概要の記載を追加しました。</p>
21	①	<p>生成AIの活用はあらゆる分野で広がりを見せているため、総合職業技術校で実施する全てのコースでカリキュラムに取り入れるべきと考えます。</p>	C	<p>生成AI分野は、新たに訓練に取り入れる内容のため、計画に示した記載としていますが、いただいた御意見を参考に訓練内容を検討し、実施してまいります。</p>
22	①	<p>総合職業技術校の応募者数が減少傾向にある要因として、開講時期が4月と10月のみということが挙げられると思われるため、開講時期、開講回数について再検討すべきと考えます。</p>	C	<p>開講時期等については、求職者や企業のニーズを踏まえ、総合的に検討していく必要があります。いただいた御意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
23	①	<p>母子家庭などの支援が必要な家庭にとって、授業料やその他の負担が少なく学びやすい環境になっているのでこういった施設が増えると良いと思った。</p>	E	<p>支援の必要な方が職業訓練を受けられるよう、引き続き取り組んでまいります。</p>
24	①	<p>自動車整備について、実習場の設備や学科授業の内容は民間の学校よりも充実しているにも関わらず、少ない負担で学べるのでとても助かっている。</p>	E	<p>必要な方に職業訓練を受けていただけるよう、引き続き取り組んでまいります。</p>

意見番号	意見区分	意見の要旨	反映区分	県の考え方(案)
25	①	自動車整備をはじめとした工業系で必要としている資格以外にも、いくつかの検定や資格を受けれるのでありがたい	E	企業や求職者のニーズを踏まえて、仕事に役立つ資格など、在校中の取得支援を進めてまいります。
26	①	全体的に 計画は、様々な分野や人に対する職業訓練のメニューをきめ細かに列挙していただいておりますが、職業訓練は「目的」ではなく「就職」を実現するための有効な手段であると思いますので、施策・成果目標に就職者数を掲げていることを鑑みると、職業訓練を受けた後の就職に結びつける施策についても計画に盛り込んでいただくと、県民にとってより心強い計画になるのではないかと思います。(P.42の「カ 造園・林業分野(イ)に記載されているようなことが書いてある」といっていました。)	B	総合職業技術校等の就職に結びつけるための取組は、ジョブ・カードの作成支援等、まとめた形で計画中の実施目標Ⅲに反映しています。
27	①	<p>県内で中小製造工場を営んでおります。人材不足は深刻で一般的な求人媒体に掲載しても製造業職種への就職希望者は皆無。また、産業技術短大、総合職業技術校、県内工業高校にも求人募集を出し続けておりますが、各学校の入学者数自体が定員割れしている状況の中、学生数と求人企業数とのバランスの悪さが際立ちます。産業技術短大では1人の学生に対して350社が群がるような状況。高卒は大手企業がまとめて持って行ってしまいます。</p> <p>日本の製造業が伸びてきた大きな理由として臨機応変に対応する多品種少量生産を得意としてきた点があると思います。日本の製造業は中小企業が多品種少量生産で部品を製造し、その部品を使って大企業の工場を組み立てる、という構造になっています。中小企業が請け負っている多品種少量生産は作業データの蓄積が難しく、AIやロボットへの移行がやりづらい分野です。今後人間が臨機応変に対応していく事が得策とされると思われます。</p> <p>しかしながらそういった職場に最も人が集まらなくなっています。中小製造業社は人がいないと事業継続ができません。</p> <p>そのため既に多くの外国人人材に頼る状況となっています。外国人人材がいないと経営が成り立ちません。しかし中小企業にとって外国人人材の教育や長期雇用は大きな負担となっています。日本式の安全業務基準を日本語が不得意な社員に浸透させるのは容易ではありません。業務上必要な資格も日本語受験で合格をさせないとなりません。また長期で働くための在留資格取得には日本人にも難関な試験の合格を要求されます。それに合格しないと8年で帰国しないとなりません。管轄する省は「外国人にいつまでも日本にいられては困るから難しい試験にしている」といいます。そんな理由は社員教育をし続けてきた企業にとっても、日本で働きたい社員本人にとっても何一ついいことはありません。8年ごとにまた一から社員を育てないといけない、そんな企業は進化できません。</p> <p>(※) 次頁に続きます。</p>	C	産業技術短期大学校では、外国人留学生の受入を行っており、日本語教育の支援なども実施しています。引き続き、外国人留学生の育成に取り組み、中小企業を支援してまいります。いただいた御意見は取組の参考とさせていただきます。

意見番号	意見区分	意見の要旨	反映区分	県の考え方(案)
		<p>今後の職業訓練開発に対して、私どものような中小製造業社の希望としては、</p> <p>◆中小製造業で働く事の魅力を発信・普及して欲しい 「ブルーカラービリオネア」というようなパワーワードも生まれ、ブルーカラー職種への風向きが変わり始めています。このタイミングで神奈川県内製造職種で働く事の魅力や将来性を発信、普及してほしい *例えば、ブルーカラー職種で働くストーリーをマンガ化、アニメ化したコンテンツを制作</p> <p>◆産業技術短大を外国人向けの職業訓練学校として大幅リニューアル 産業技術短大が所有する教育資産を使用し外国人に開けた教育に注力する。例えば県内企業に入社予定の外国人社員に対し入社前研修を行える。工場で使う専門的な日本語教育を行える。日本語での資格試験受験勉強補講。特定技能2号試験受験勉強補講。など、人口が激減している日本人若年層をターゲットとするよりも外国籍若年層をターゲットとした学校にしていった方が企業にも労働者にとっても幅広く役立つ職業訓練施設になると思います。アメリカでは企業からの寄付金で成り立つ職業訓練校も多いようです。そのようなカリキュラムがあれば学校に投資を考える企業も多いのではないのでしょうか？</p> <p>短大の先生方は一生懸命1名でも多くの学生を集めようと奮闘していらっしゃると思います。しかし分母が非常に少ない高卒日本人というターゲットを狙うよりは、その教育をより必要としているターゲットに切り替えた方が良いと思います。短大の施設はだいぶ老朽化しており、日本人学生はなかなか進学を希望しないと思います。でも外国人向けであればまだ、短大施設は活躍できると思うのです。</p> <p>◆ブルーカラービリオネアを育成する職業訓練校 今の短大施設は外国人向けに特化させ、日本人向けに最新の機器や教育を揃えた職業訓練校を別に整備してはどうでしょうか？イメージが良く、自分の将来が想像でき、夢が見れる訓練校があれば日本人ブルーカラーも増えてくると思います。</p> <p>上記のような戦略で、神奈川県は外国人労働者に手厚い県である、といううわさはすぐに外国人社会に広がり優秀な外国人材を獲得しやすい環境が整うと思います。労働人材確保に対して自治体同士の競争が激化してくると思います。神奈川県としてオリジナリティのある策を打ち出してほしい。</p> <p>国は外国人高度人材の獲得へ力を入れています。実際に現場で足りていないのは高度人材在留資格では就く事ができない職種です。日本人がやりたがらないブルーカラー職をカバーしてくれる外国人材の職業能力開発により一層力を入れて頂きたい。またそのような人材が1年でも長く同じ神奈川県内企業で働き続けられる後押しをお願いしたいと思います。</p>		

意見 番号	意見 区分	意見の要旨	反映 区分	県の考え方(案)
28	①	<p>数値目標が強調されていて、今回の第12次計画では県は一体何に重きを置いてどんなことをやろうとしているのか、が、特に初めてこの素案を見る人にとってはなかなかわかりづらい、だろうな、というのが素直な感想。 (今回のパブコメはとにかく数値目標についてを語りたい、ということなら仕方ないが)</p> <p>本来、新たな中期計画の提案に際しては、現在の中期計画に対して、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今は取り巻く環境がこう変化し ・11次計画ではココはうまく行ったけどココはだめだった ・県としての大きな思いは、こうである ・したがってこのようなところに重点(目標)を置いて取り組もうと思っている ・KPIとしてはこのような数値目標を置いている <p>のような形の凝縮されたサマリーがあるとよい。 (さすがに80ページの資料を11次と12次と比較しながらみるのはしんどいです)</p> <p>要は、PDCAをキチンと回しつつ、もうちょっと、県としてこの新計画にかける思い、のようなものを感じられる形にして示してあげたら、それに対しての県民の声というのも集まりやすくなるのでは、と感じたしだい。</p>	A	御意見の趣旨を踏まえ、新しい取組やその他の主な取組など、計画の概要等をまとめたページを追加しました。
29	①	<p>中期計画であれば、目指す先(たとえば5年後)に大きくどういう状態になってなければ、ならない。その状態はそれぞれの分野ごとにどうなっているべきか。 まずはそれが正しいと感じてもらえるかどうかを判断してもらい、次にそれを成しうる方策についてを、を評価してもらおう。 (この時、現行の11次案との差などを示してもらえると、力を入れているところがわかり易いと思う)</p> <p>で、数値目標については、達成した時のあるべき数字はどのようなレベルになっているべきか、という議論・確認があった後に、5年後の数字、3年後の数字、1年後の数字を逆算して出す。というのが、本来の中期計画の作り方は。</p> <p>ココからは多少私見になりますが、やはり長い資料でも、読んで引き込まれたり、いろいろと言いたくなるのは、作成者の「気持ち」が見えるかどうか、なんではないか、と思うんですよね。 気持ちが見えると、それに応えて応援したくなったり、ココをこうしたらもっと良いのに、とか言いたくなるじゃないですか。 そんな思いがもう少し見えてくるような最終案になると良いな、と思いました。</p>	A	第11次計画と第12次計画との社会情勢の違いや、第12次計画の目指すところを御理解いただくため、新しい取組や成果目標などを記載した計画の概要等をまとめたページを追加しました。

② 実施目標 I 産業構造の変化と技術革新の進展等に適応した人材育成の推進

※1 意見の要旨は原則として原文のままですが、個人情報等に係る記載を除いている場合があります。

※2 意見の要旨中に掲げるページは意見募集時のものであり、公表した計画のページと異なっている場合があります。

意見番号	意見区分	意見の要旨	反映区分	県の考え方(案)
1	②	スキルアップセミナーに関して。ビルクリーニング技能士1から3級取得を一つの目標とした、清掃作業に特化したメニュー型講座を作してほしい。以前に比べてなくなってしまった。清掃の分野の中でも、日常清掃ではなく、機械洗浄を中心とした業務は今後もニーズは続く。	C	民間でのセミナー実施状況等を踏まえ、スキルアップセミナーの講座を検討する際の参考とさせていただきます。
2	②	アメリカにおける「ブルーカラービリオネア」現象を見据えた人材育成が必要。リスキリングで学べるような簡単なプログラミングはAIで代替され、失業につながる。これから重点をおくべきはAIに置き換えられない配管工、電気工事士などのブルーカラー技能と考える。	B	県としても、電気工事士等の基盤技能に関する人材育成は重要と考えており、いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標 I 及びIVに反映しています。
3	②	1. 計画案の該当箇所 実施目標1：産業構造の変化と技術革新の進展等に適応した人材育成 実施目標2：労働者の特性を踏まえた職業能力開発 2. 現場での課題・状況 中高年者がデジタル分野に興味を持ち、訓練を希望する一方で、膨大な新知識の習得や修了後の就職が難しいなど、課題も多くあります。しかしながら、デジタル分野における人材不足は深刻であり、中高年者が能力に応じた知識を習得し、就職に結びつけられるような訓練が望まれます。 3. 改善提案 具体的には、IT分野の入り口であるサポート業務に特化し、中高年者でも確実に就職につながる訓練を設けることで、労働市場の需給調整に寄与できると考えます。 4. 期待される効果 ・中高年者のデジタル分野への参入促進 ・労働市場の需給バランス改善 ・ITサポート業務の人材不足解消	C	今後、社会の高齢化が進み、また、デジタル人材の需要が一層増すことが見込まれる中で、中高年齢者に合った職業訓練の実施は重要と考えます。いただいた御意見は、企業や求職者のニーズを踏まえて訓練内容を検討する際の参考とさせていただきます。
4	②	実施目標1 ・定員100名に対して目標75名とする理由が不明	D	定員と同数を就職に繋げたいところですが、自己都合による中退等のため、定員と同数の就職者を輩出することは実現が困難であることから、過去の実績を鑑みて目標を設定しました。
5	②	目標に掲げる産業構造の変化に対応した専門人材を育成するためには、職業能力開発施設及び学校における設備の高度化や転換を図り、必要とされるカリキュラムにより高いレベルで対応し、充実した訓練環境を整える必要があると考える。そうした観点からの意見であるが、訓練環境の充実強化などに関して、次期計画案においてももっと明確に位置づけるべきではないか。	B	県としても、職業能力開発施設の設備や訓練機器の充実を図り、時代に合った訓練環境を整えることは重要と考えており、いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標Vに反映しています。
6	②	P36「イ 航空・宇宙・ロボット分野等に対応した実践的技術者育成プログラムの推進」の「宇宙スキル標準」やP51の「ジョブカード」、P61「人材育成支援センター」や「かながわ人材育成支援ネットワーク」など、一般的に馴染みがない固有名詞については、欄外やコラムで説明するなど、理解できるようにした方がよい。	A	皆様の御理解を促進するため、御意見の趣旨を踏まえ、当該箇所新たに「コラム」等として追加しました。

意見番号	意見区分	意見の要旨	反映区分	県の考え方(案)
7	②	デジタル分野における人材の育成の推進への取り組みはよくわかりました。 製造現場におけるロボット技術者も不足しているの取、産業用ロボットのプログラミングや取り扱いを習得できるコースがあっても良いと思いました。	B	産業用ロボットの取扱いは産業技術短期大学の制御技術科などで実施しています。
8	②	p.36(3)次世代産業分野における人材の育成の推進【具体的な施策】ア 生成AI活用スキル習得促進について、かなりざらりと記載されて終わってしまったが、ロボット産業やDX以上に急速に進化している分野であるのでもう少し記載があってもよいのではないか。	C	生成AI分野は、今後、訓練に取り入れるため、計画の記載としていますが、いただいた御意見を参考に、AIの進化に合わせた内容を検討し、実施してまいります。
9	②	p.39(6)労働力不足分野における職業訓練等の実施【具体的な施策】ア 介護・福祉分野(エ)1行目、「…医療的ケアを必要する方々…」となっている。必要「と」する、ではないか。	A	御意見の趣旨を踏まえ、当該箇所を修正しました。
10	②	デジタル技術は今後も重要性を増すかと思いますが、これを分類すると 1、専門的な業務内容のデジタル化による生産性向上の推進(例:業務特化型システム) 2、汎用的な業務のデジタル化による生産性向上の推進(例:定型業務への生成AI活用) 3、インフラとしてのデジタルに対する習熟度向上 このうち、1と2は比較的推進がされていると考えます。 一方、3は比較的遅れていますが、昨今のランサムウェア被害等を考えると、立場に関係なくITリテラシー等の向上が職業従事者にとっては不可欠なものになると推測いたします。 その一助となる施策をご検討いただけますと幸いです。	B	県としても、訓練生に対するITリテラシー等の教育が必要と考えており、いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標Iに反映しています。
11	②	職業技術校などで基礎的な技術を習得されて採用されても、技術の高度化などにより、実務業務とのレベルのギャップが大きくなっている。中小企業では採用後に時間をかけて戦力になるまで育成する余裕はなく、採用された本人も大変な期間を過ごさなくてはならない。技術校で基礎的なコースと連動したその上のレベルの教育を受けることが出来れば、本人も会社もスムーズに新しい仕事に入ることが出来るのではないか。ご検討願いたい。	C	職業技術校では、訓練における技術の高度化も随時行っていますが、入社後も、習得した技術をより高めていただくためのスキルアップセミナーを実施していますので、ぜひ御活用ください。
12	②	ウ 企業等に出向いての在職者訓練の相談・支援 人材育成支援センターにおいて、企業・団体等に直接出向いて人材育成に関する相談を行い、・・・ では、「出向いて」という表現が意味は分かるが、こなれていないため、例えば 人材育成支援センターから企業・団体等を訪問し、その実情を踏まえた人材育成に関する相談を行い、・・・ などとしてはどうか。	A	御意見の趣旨を踏まえ、当該箇所を修正しました。

意見番号	意見区分	意見の要旨	反映区分	県の考え方(案)
13	②	<p>キ 産業技術マネジメント研修の実施 製造現場で必要とされるISO講座や品質管理講習等のものづくりの管理面を担う人材育成を支援するとともに、近年顕在化する品質不正問題にも関連し、新たな品質マネジメントの手法等をテーマに新規研修を企画し、実施します。 については、語句の統一「品質管理」、「品質マネジメント」や「ものづくりの管理面を担う」は分かりにくいので、例えば、 製造現場で必要とされるISO講座や品質管理講習等のものづくりの品質保証等を担う人材育成を支援するとともに、近年顕在化している品質不正問題にも対応できるような新たな品質管理の手法等をテーマに新規研修を企画し、実施します。 としてはどうか。 (イ) 総合職業技術校において、介護福祉施設等の従業員に対して、介護・福祉分野に必要とされる人材の育成とスキルアップを支援するため、短期間の在職者訓練を実施します。 については、表現をシンプルにするため、例えば、 (イ) 総合職業技術校において、介護福祉施設等の従業員に対して、介護・福祉分野で必要となるスキルを向上させるため、短期間の在職者訓練を実施します。 としてはどうか。 (ウ) 総合職業技術校が実施する介護・福祉分野の人材育成事業について、「介護フェアin かながわ」出展し、求職者訓練や在職者訓練の周知を行います。 については、「介護フェアin かながわ」など固有名を記述する必要があるのか疑問であるため、例えば、 (ウ) 総合職業技術校が実施する介護・福祉分野の人材育成の取組を、関連する展示会等の機会を活用して周知します。 としてはどうか。</p>	A	御意見の趣旨を踏まえ、当該箇所を修正しました。
14	②	<p>デジタル人材育成については、IOT、ICTの一步先に行く、AIやロボティクスの知識技能の育成を強化すべきと考えます。また育成のためマイクロソフトやグーグルなどとの連携を行うべきと考えます。</p>	C	県としても、今後、AI等の人材育成の取組が重要と考えており、計画に位置付けているところですが、いただいた御意見の連携に関しては、当該訓練を推進する上での参考とさせていただきます。
15	②	<p>企業等が求める人材の育成の推進は、どの業界も人手不足なので、非常に重要になってくると思います。予算も厳しいかと思いますが、来年度も実施していただけるとありがたいです。全体として、非常に精緻な内容でとても期待しています。</p>	B	県としても、産業界の需要に即して様々な分野における人材を輩出していくことは重要と考えており、本計画を推進していきます。
16	②	<p>P35 第5-1-(2)-イ デジタル技術を導入した訓練手法の開発 「新たなデジタル技術を活用した訓練教材や訓練カリキュラムの開発に向けた調査・研究を推進」とありますが、新たなデジタル技術に限定せず、デジタル技術全般を活用した訓練教材や訓練カリキュラムの調査・開発を実施してください。 県内企業の約9割が技能承継に不安を感じている現状(第2-2-(5))に対し、デジタル技術を活用して開発した訓練教材や訓練カリキュラムは積極的に公開してください。 また、これらの取組に対して、技術的・財政的支援を強化することを盛り込んでください。</p>	C	いただいた御意見は、取組の参考とさせていただきますが、訓練教材については、人材育成支援センターで情報提供を行っているほか、令和7年度は製造業向けの生成AIを活用したモデルカリキュラムを開発しており、今後ホームページで公開する予定ですので、御活用ください。

意見 番号	意見 区分	意 見 の 要 旨	反映 区分	県 の 考 え 方 (案)
17	②	2級自動車整備士の育成者数を今まで以上に増やしてほしい。	D	県としては、企業ニーズや受講者ニーズに加え、自動車整備士を育成する民間教育訓練機関等とのバランスを考慮して、定員数を決めています。
18	②	整備士の内定者数が激減しているので、2級自動車整備士又はそれ以上の資格を持つ人材が増えることを願っています。	D	県としては、企業ニーズや受講者ニーズに加え、自動車整備士を育成する民間教育訓練機関等とのバランスを考慮して、定員数を決めています。
19	②	34、36ページ「デジタル『リテラシー』」の「リテラシー」は個人的にわかりにくい言葉であると感じました。役所が作る書類には当たり前かもしれませんが、説明書きを加えた方が理解が進むのではないかと思います。	A	皆様の御理解を促進するため、御意見の趣旨を踏まえ、当該箇所新たな記載を追加しました。
20	②	基礎的な技術学ぶことも大切であるが、最新の技術を学ぶためにも、技術校等の機器の更新をお願いしたいです。	B	県としても、職業能力開発施設における訓練機器の充実を図ることは、企業ニーズに合った訓練を実施するために重要と考えており、いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標Vに反映しています。
21	②	実技等を除いて、一部オンライン化することにより参加者が増えると思います。	B	県では、実技を除いた学科の訓練について同時双方型のオンライン訓練を一部実施しており、いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標Iに反映しています。

③ 実施目標Ⅱ 労働者の特性を踏まえた職業能力開発の推進

※1 意見の要旨は原則として原文のままですが、個人情報等に係る記載を除いている場合があります。

※2 意見の要旨中に掲げるページは意見募集時のものであり、公表した計画のページと異なっている場合があります。

意見番号	意見区分	意見の要旨	反映区分	県の考え方(案)
1	③	<p>1. 計画案の該当箇所 実施目標1：産業構造の変化と技術革新の進展等に適応した人材育成 実施目標2：労働者の特性を踏まえた職業能力開発</p> <p>2. 現場での課題・状況 中高年者がデジタル分野に興味を持ち、訓練を希望する一方で、膨大な新知識の習得や修了後の就職が難しいなど、課題も多くあります。しかしながら、デジタル分野における人材不足は深刻であり、中高年者が能力に応じた知識を習得し、就職に結びつけられるような訓練が望まれます。</p> <p>3. 改善提案 具体的には、IT分野の入り口であるサポート業務に特化し、中高年者でも確実に就職につながる訓練を設けることで、労働市場の需給調整に寄与できると考えます。</p> <p>4. 期待される効果 ・中高年者のデジタル分野への参入促進 ・労働市場の需給バランス改善 ・ITサポート業務の人材不足解消</p>	C	<p>今後、社会の高齢化が進み、また、デジタル人材の需要が一層増すことが見込まれる中で、中高年齢者に合った職業訓練の実施は重要と考えます。いただいた御意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。企業や求職者のニーズを踏まえて、訓練内容を検討していきます。</p>
2	③	<p>実施目標2 ・定員1,400名に対して目標860名とする理由が不明</p>	D	<p>定員と同数を就職に繋げたいところですが、自己都合による中退等のため、定員と同数の就職者を輩出することは実現が困難であることから、過去の実績を鑑みて目標を設定しました。</p>
3	③	<p>外国人材の活用について、日本語能力取得の支援も盛り込んでもらいたい。日本語の読み書きは外国人にとって、とてもハードルが高いものだと思います。職種によって求められる日本語能力は様々だと思いますが、最低限の日本語能力を習得することは、日本人社会で生きていくのに必須だと思います。</p>	B	<p>産業技術短期大学校では、外国人留学生の受入を行っており、日本語教育の支援なども実施しています。いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標Ⅱに反映しています。</p>
4	③	<p>人手不足により、今後企業の外国人採用が増える中で、中小企業の人材育成は課題となると予想される。国の育成就労制度も始まるので、今回の計画期間中に、外国人をどのように育成すべきか、企業の声も聞いて検討してほしい。</p>	C	<p>県内における外国人材の増加が見込まれており、いただいた御意見は、今後の外国人材に係る人材育成の施策を検討する上で、取組の参考とさせていただきます。</p>
5	③	<p>活動指標を見ると、外国人材の就職支援実績が「年間数名から10名程度」と非常に少なく見受けられます。神奈川県には多くの外国籍住民がおり、産業界でも欠かせない存在となっている現状に対し、県立の訓練校レベルでの支援規模がこれで十分なのか、あるいは民間との役割分担がどうなっているのかが気になります。</p>	C	<p>「年間数名から10名程度」の実績は産業技術短期大学校の外国人留学生であり、県内では、大学や専門学校、あるいは技能実習制度等により、外国人材の就職支援や活用が行われています。いただいた御意見は、今後の外国人材に係る人材育成の施策を検討する上で、取組の参考とさせていただきます。</p>

意見 番号	意見 区分	意 見 の 要 旨	反映 区分	県の考え方（案）
6	③	<p>外国人材の職業能力開発の推進は重要な取組だと感じました。</p> <p>言語の壁はありますが、しっかりと日本で仕事をしていただけるようサポートをしていただきたいです。</p> <p>また、外国人の卒業生で活躍されている方がいれば、ぜひ情報発信をしていただきたいです。</p>	B	<p>実施目標Ⅱの外国人留学生の人材育成や、実施目標Ⅴの情報発信により、外国人材の職業能力開発を推進していきます。</p>
7	③	<p>P44 第5-2-(2)-イ 特定世代優先枠の設定 P49 第5-2-(2)-ア ひとり親家庭の親等の優先枠の設定</p> <p>優先的に職業訓練を受講する必要がある対象者は、優先枠の設定人数に限定せず、対象訓練において要件を満たす全ての応募者が優先的に職業訓練を受講できるようにすべきです。</p>	D	<p>職業訓練を必要としている一般の方に対しても、受講の機会を提供するため、要件を満たす全ての応募者が優先的に職業訓練を受講していただく人数設定は困難ですが、優先枠の応募者には、優先枠と一般枠とで2度選考の機会を提供しています。</p>
8	③	<p>2級自動車整備士の輩出を増やして欲しいです。よろしくお願いします。</p>	D	<p>県としては、企業ニーズや受講者ニーズに加え、自動車整備士を育成する民間教育訓練機関等とのバランスを考慮して、定員数を決めています。</p>
9	③	<p>46ページ上から4行目「就職に結びつける支援」について、「支援」の具体的な内容について記載があると、よりこの計画への理解が進むのではないかと思います。</p>	A	<p>御意見の趣旨を踏まえ、当該箇所を修正しました。</p>
10	③	<p>障がい者の職業能力開発の推進の施策や、職業訓練等の充実に関する具体的な施策に記載のあるように、『企業ニーズ』に考慮した訓練は大切なことです。ただ一言で『企業ニーズ』と言っても、企業が求める範囲やレベル感は様々だと思います。</p> <p>障がい者の特性に配慮することはもちろん必要ですが、一人ひとりに合ったきめ細かい指導や訓練によって、彼らは理解し成長し困難を乗り越えていけると思います。企業が求める職業能力、知識や技術面だけではなく、社会人・職業人として必要な基礎的なビジネスマナー（挨拶）だったりコミュニケーション能力（報連相）の習得・向上も、企業によっては必要な要素だと思います。また増加傾向にある精神障がい者を雇用する場合は、特に彼らの「気持ちの切り替え」や、安定した長期就労に向けた気持ちの面での対策なども重要になると思います。</p> <p>一人ひとりの成長を促すような寄り添った指導、内面的な人材育成という目線での能力開発は労力がかかるかもしれませんが、計画のカリキュラムに取り入れてみてはいかがでしょうか。</p>	C	<p>神奈川障害者職業能力開発校では、就職や定着に向けたきめ細かな指導を実施しているところですが、より良い運営に向けた職業能力開発の推進に当たり、いただいた御意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>

意見 番号	意見 区分	意見の要旨	反映 区分	県の考え方（案）
11	③	実験的に研修時間に保育等お願いできる環境を限定箇所でも検討していただけると若年層も興味が惹かれるのではと。	B	民間教育訓練機関等への委託訓練では、託児サービス付きの訓練を実施しており、いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標Ⅱに反映しています。
12	③	「労働者の「特性」を踏まえた」とする目標であり、若者、非正規雇用労働者、障がい者、中高年齢者等に分けて具体的な施策を実施するようであるが、その成果目標としては、「就業者数」と全てをまとめたものとなっており、特性ごとの成果がわからないので、成果目標として適当なのか疑問を感じる。	B	本計画では、それぞれの特性を持つ労働者ごとの施策の実績が分かるよう、成果目標のほかに活動指標を設けています。
13	③	【具体的な施策】 ア 育児や介護で通所が困難な受講者に向けた職業訓練の実施 民間教育訓練機関等の施設、設備等を活用し、育児や介護で毎日の通所が困難な受講生向けのeラーニングコースや、育児中の受講生向けに、託児サービス付き訓練を設定することで訓練受講の機会を提供します。 を 託児サービスを設定することで訓練受講の機会を提供します。 に修正する必要があります	A	御意見の趣旨を踏まえ、当該箇所を修正しました。
14	③	エ 障がい者に向けた民間教育訓練機関等を活用した職業訓練の実施 障がいのある求職者や、特別支援学校高等部に在籍する就職希望の生徒に対して民間教育訓練機関を活用した就労実習コースや、eラーニングコースなどの障がい特性に応じたコースを設定した職業訓練を実施します。 を、例えば 障がいのある求職者や、特別支援学校高等部に在籍し就職を希望する生徒に対して民間教育訓練機関を活用した就労実習コースや、eラーニングコースなどの障がい特性に応じたコースを設定した職業訓練を実施します。 といった表現にするのはどうか また、 カ 全国障害者技能競技大会への参加支援 神奈川県障害者技能競技大会（アビリンピック神奈川）の入賞者を全国障害者技能競技大会全（全国アビリンピック）への推薦や引率、練習会開催企業への補助を行うことにより、参加を支援します。 の「全」は不要と考えます	A	御意見の趣旨を踏まえ、当該箇所を修正しました。
15	③	イ 外国人技能実習生の技能検定の実施 外国人技能実習制度において、研修成果を評価する方法として位置づけられている基礎級並びに随時2級及び3級の技能検定について、試験会場等の適切な実施環境を整え、試験の実施を支援します。 この記述については、外国人技能実習制度は廃止され特定技能制度に移行している時期であるため、これに対応する記述を検討できないか。	A	御意見の趣旨を踏まえ、当該箇所を修正しました。

④ 実施目標Ⅲ 職業生活と学校生活等を通じた主体的なキャリア形成の支援

※1 意見の要旨は原則として原文のままですが、個人情報等に係る記載を除いている場合があります。

※2 意見の要旨中に掲げるページは意見募集時のものであり、公表した計画のページと異なっている場合があります。

意見番号	意見区分	意見の要旨	反映区分	県の考え方(案)
1	④	自動車実習場の空調の整備をして欲しいです。夏は涼しく冬は暖かく	B	質の高い訓練を実施するために、職業能力開発施設における環境整備の充実を図ることは重要と考えており、いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標Ⅴに反映しています。
2	④	リスキリングは事業主の立場からすると、他社への転職を助長するとの懸念があり、在職者訓練の実施に当たっては、事業主、労働者双方にメリットのある取組みが必要のため、留意していただきたい。	D	リスキリングは、転職するための技術習得ではなく、業務内容の変化や、新たに発生する業務に対応するためのスキル習得を目指すものであり、企業の事業拡大にも結びつくなど、事業主及び労働者双方にとってメリットとなるものと考えます。
3	④	神奈川県下の小中高校生に対して、将来、職業の選択肢を増やすためにもキャリア教育の拡充が必要だと思います。生徒だけではなく、小中高校の先生、保護者の方がオープンキャンパス、施設見学に来るようなイベントがあると良いと思います。	B	県としても、小中高生等の早期からの職業意識の醸成を図ることは重要と考えており、保護者も参加できるものづくり体験イベントの開催など、いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標Ⅲに反映しています。
4	④	「ジョブカード」など、県民があまり知らないものは、注釈が必要。	A	皆様の御理解を促進するため、御意見の趣旨を踏まえ、当該箇所新たに「コラム」として追加しました。
5	④	高校への出前授業やSNSによる情報発信を強化し、県内のものづくり産業、企業を支える人材を、より多く育成してください。	B	県としても、様々な機会や媒体を通じて、ものづくり産業をはじめとする人材育成のため、職業訓練等の認知度向上を図る情報発信強化は重要と考えており、いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標Ⅳ及びⅤに反映しています。
6	④	キャリア教育においては、産業フォーラムなど素晴らしい取り組みがありますが、キャンパス内にサードプレイス(部活のような)を設置し、希望者がプロジェクトを立ち上げ外部と連携し推進する機能を設けると良いと思います。近畿大学のアカデミックシアターを参考にしてください。	B	産業技術短期大学校では、部活動として、企業や他の学校と競技会の練習会を行うなど、お互いが切磋琢磨して技術を高め合うなど、連携して推進する取組を行っていますが、いただいた御意見も参考に、引き続き取組を進めていきます。
7	④	IT・AI・データ分析・DXなどの基礎から職業実践的スキルを、アクティブラーニング、グループワーク、プレゼンテーションなどを体験しながら、即戦力となる人材を育成するには、最低1年ぐらいの学修期間が必要です。 本校では、通信制コースもありますので、LMSも併用した反転授業と同期を取り、ハイブリッドで対応出来ます。 1年位の期間で企画していただくと、受け入れ側も体制を用意しやすいです。	C	今後、IT・AI分野の人材の要望が一層増大することが見込まれる中で、企業ニーズに合った人材を育成する訓練を実施していくことが重要と考えます。いただいた御意見は、当該訓練を企画・検討する上で、今後の取組の参考とさせていただきます。

意見番号	意見区分	意見の要旨	反映区分	県の考え方(案)
8	④	訓練生の学習意欲にはかなりばらつきがありますので、受け入れ側で選考できるようにして頂きたいです。	D	訓練生の学習意欲の差異があることは課題と考えているものの、訓練生の選考は県として一律的に実施する必要があり、現在のところ受入先で選考を実施していただくことは困難です。
9	④	54ページ「コンソーシアムサポーター」について説明書き(解説)が欲しい。	A	御意見の趣旨を踏まえ、当該箇所を説明書きを追加しました。
10	④	計画拝見しました。小・中学生のころから職業のイメージを持たせる教育の重要性を感じました。既存の「公共職業能力開発施設」の中には定員割れもあると伺ったことがあります。 認知度が低い印象があるので、年齢を問わずシームレスなかかわりができるように、選択肢として選ばれるように、親の世代や低年齢から認知度を高めるための施策が必要と思いました。	B	県としても、幅広い世代に向けて職業訓練等の認知度向上を図ることは重要と考えており、いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標Vに反映しています。
11	④	実施目標3の成果目標を「定着率」としているが、現代では、特に若者世代を中心に前向きなスキルアップの手段として転職するのが当たり前であり、「定着率」で測ることが適当なのか疑問を感じる。また、本目標は、主体的なキャリア形成ができることが重要であり、定着も一つの視点ではあるが、全てではないと思われる。	D	実施目標IIIの成果目標である定着率は、同じ仕事を続けている転職者も含めた数値としており、スキルアップによる転職を考慮に入れた目標として設定しています。

⑤ 実施目標Ⅳ ものづくり産業の持続的発展と技能の振興及び継承

※1 意見の要旨は原則として原文のままですが、個人情報等に係る記載を除いている場合があります。

※2 意見の要旨中に掲げるページは意見募集時のものであり、公表した計画のページと異なっている場合があります。

意見番号	意見区分	意見の要旨	反映区分	県の考え方(案)
1	⑤	就職者数が技能の振興に関わることは理解できるが、技能の継承に関わることは理解しにくい。	D	就職者が増えることにより、新たな人材が配置され、技術を受け継いで産業を担っていく可能性が高まることから、技能の継承に関係するものと考えています。
2	⑤	モノづくりを中心とした神奈川県経済の持続的発展のため、一つひとつの取組みで、着実に成果を上げていただくよう期待します。	E	県としても、県の基幹産業であるものづくりを中心とした人材育成を図っていくことは重要と考えており、計画に基づいて、施策を推進してまいります。
3	⑤	技能の振興と継承について各産業界と職業訓練施設の連携強化を図る。(各産業界で独自で行っている「教育」の場を施設貸与という形で提供することにより、今学んでいる生徒の刺激にもなる)	C	県としても、技能の振興と継承を図るため、各産業界と連携を強化していくことは重要と考えており、取組内容や連携方法を含め、いただいた御意見は、今後の参考とさせていただきます。
4	⑤	労働力不足の中、若手が業界参入しやすいよう短期コース1ヶ月や3ヶ月、外国人向けのカリキュラム等、より多くの方に学校で学んでもらえるようにしたらどうかと思います。就職支援は難しくなると思いますが興味ある方が入りやすく学びやすい環境にする事がより多くの労働力排出に繋がると思います。	B	県としても、若者や外国人材などを始めとして多くの方に利用していただけるよう、訓練内容や訓練期間等をニーズに合わせて変えていくことは重要と考えており、いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標Ⅱ及びⅤに反映しています。
5	⑤	若年者の育成をし、高度技能熟練者の育成に力を入れて欲しい。	B	県としても、中小企業の技能継承を支援し、若年者等の技術者を高度技能者へと育成することは重要と考えており、いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標Ⅱ及びⅣに反映しています。
6	⑤	「ものづくり産業の持続的発展」という内容は、製造業をどうしていくかという産業振興的なものと受け止められるため、「ものづくり産業を支える人材の育成・養成」のような内容の方が適当ではないかと思います。	D	人材育成や技能継承に加え、技能検定、表彰等の技能者の社会的地位向上などの技能振興や、スキル等の見える化等を通じて、ものづくり産業を持続的に発展させることを目指しており、この内容としています。
7	⑤	(2) ものづくり分野の高度な技能労働者の育成支援 【具体的な施策】 ア ものづくり分野の訓練等の実施 (ア) 総合職業技術校において、県の基幹産業であるものづくり分野の持続的発展を支える技能労働者を育成するため、機械や電気、建築等の職業訓練を安定的に実施します。 の記述について、「安定的に実施します」という表現が何を指しているか分かりにくい。	A	御意見の趣旨を踏まえ、当該箇所を修正しました。

⑥ 実施目標Ⅴ 職業能力開発推進体制の充実と情報発信の強化

※1 意見の要旨は原則として原文のままですが、個人情報等に係る記載を除いている場合があります。

※2 意見の要旨中に掲げるページは意見募集時のものであり、公表した計画のページと異なっている場合があります。

意見番号	意見区分	意見の要旨	反映区分	県の考え方(案)
1	⑥	<p>ハローワークは多くの県民が知っているが、公共職業訓練(ハロートレーニング)を知っている県民は少ない。</p> <p>県民が存在を知らなければ、どんなに良い施設であっても絶対に利用することはできない。</p> <p>特に公共職業訓練は、県民の職業生活の中で、一つの進学先という位置付けだけではなく、再就職時や、在職中のスキルの向上を図る施設という重要な位置づけとなり得る施設である。</p> <p>ダム等の施設とは違い、県民が直接利用する施設なのであるから、その存在を県民に周知することがは県としての(公共施設として)の責務であると考えます。</p> <p>そこで、進路と仕事の関連付けを始める高校生に対してのキャリア教育の一環として、県内の高等学校と連携し、神奈川県内の公共職業訓練の紹介を高校生を対象に毎年継続して実施して行くことで、これからの高校卒業者は全員が公共職業訓練を知っている状況にしていったらどうか。</p> <p>具体的には、各高等学校の2年次のキャリア教育の時間に、3～40分前後時間を取ってもらい、神奈川県労働局が作成している「神奈川県の職業訓練施設案内」等を高校生に配布して公共職業訓練の紹介(施設としての位置付け・制度や利用方法、県内の施設、内容等)をしていく。(説明者は、国、県、市の公共職業訓練施設で分担)高等学校に直接説明する時間が取ってもらえなくても、資料だけでも説明対象の高校生の手元に渡るようにできればと考えます。</p> <p>長期的な取り組みとして、多くの県民が公共職業訓練を認知している状況を作り出すことで、必要になったときに利用できる施設となり、県民へのサービス向上が図られることになる。</p> <p>周知するために、県の便りなどで時折公共職業訓練の広報をすることは過去にあったが、目に入るのと直接説明を受けるのでは、記憶に残るという意味で大きな違いがある。</p>	B	<p>県としても、職業訓練等の認知度の向上は重要と考えており、高校訪問や説明会等により周知を行っていますが、より多くの高校生に知っていただけるよう、教育機関との連携を含め、いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標Ⅲ及びⅤに反映しています。</p>
2	⑥	<p>実施目標5 ・定員1,400名に対して目標1,370名とする理由が不明</p>	D	<p>県内総人口の減少や現在の総合職業技術校等への応募状況を鑑み、定員1,370名と同数の応募者を目標として設定しています。</p>
3	⑥	<p>AIにとって変わらないコアとなる人材を育成するために、ぜひ体制の充実を続けて欲しいです。</p>	B	<p>県としても、企業に必要な人材の育成に向け、職業能力開発体制を充実させることは重要と考えており、いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標Ⅰ及びⅤに反映しています。</p>

意見 番号	意見 区分	意見の要旨	反映 区分	県の考え方（案）
4	⑥	P63「情報発信の強化」としてSNS等の新たな媒体の活用が記載されている。広報は何より重要であるため、学生等の意見も聞いて、常に最新の手法にチャレンジしてほしい。	B	県としても、様々な媒体を用いて職業訓練等の認知度向上を図ることは重要と考えており、いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標Vに反映しています。
5	⑥	県主催のセミナー・研修はとても良い物が多いので、リーフレット等一般の方の目に触れられるようにできたらと思います。	B	県では、スキルアップセミナーガイドを、県内ハローワーク、市役所等への配架やホームページに掲載を行うことにより、一般の方への周知を行っており、いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標Vに反映しています。
6	⑥	実施目標を「職業能力開発推進体制の充実」と大きな内容であるに対し、成果目標が「総合職業技術校等の応募者数」と県立の4校の、しかもその応募者数で見るとは、小さ過ぎる印象を持ち、他の目標を立てた方がいいと感じます。	D	一つの視点として、職業能力開発体制が充実し、適切な情報発信ができれば、総合職業技術校等の応募者数が増えると考え、検証が可能な成果目標として設定しています。
7	⑥	ウ 教育訓練情報の共有と利用者の視点に立った情報提供 の記述について、例えば、人材育成支援センターにおいて、企業、在職者及び求職者に対する職業能力開発を促進するため、訪問等を通じて教育訓練に関する情報共有を行うとともに、能力開発に必要な情報をホームページで発信します。 表現をシンプルにしてはどうかと考えます	A	御意見の趣旨を踏まえ、当該箇所を修正しました。

⑦ その他

※1 意見の要旨は原則として原文のままですが、個人情報等に係る記載を除いている場合があります。

※2 意見の要旨中に掲げるページは意見募集時のものであり、公表した計画のページと異なっている場合があります。

意見番号	意見区分	意見の要旨	反映区分	県の考え方(案)
1	⑦	なぜ神奈川県には高等専門学校は無いのでしょうか、総合職業技術校におけるカリキュラムも良いですが、人材育成という事では、神奈川県内により基礎から実践的な事も学べる高等専門学校のような場所があっても良いと考えます。	E	県内には高等専門学校はありませんが、産業技術短期大学校において、企業が求める実践的な専門人材の育成を行っています。
2	⑦	第12次神奈川県 職業能力開発計画(素案)の3ページにある図表1-1の神奈川県総人口は、922ではなく902かと思われます。各人口を足していくと、100+567+235は902のため。	D	県の統計調査は、年齢不詳を含んでいるため、表欄外の注釈に記載のとおり、総人口と年齢別の内訳は一致しません。
3	⑦	いきなり「総論」から入るのではなく、計画の概要を最初に掲載すると分かりやすくなると思う。パブリックコメント周知用のパンフレットを活用してはどうか。取り組みで、着実に成果を上げていただくよう期待します。	A	御意見の趣旨を踏まえ、本論の前(表紙と目次の間)に新たに第12次神奈川県職業能力開発計画の概要の記載を追加しました。
4	⑦	「成果目標」として数値が記載されているが、人口減少が進む中、人数の目標を伸ばすのは難しいのではないかと。現在の数字を維持する目標でもよいと思う。	D	御指摘のとおり県人口は減少しており、目標を伸ばすことは容易ではないことは認識しておりますが、労働力が不足している状況を踏まえ、県内中小企業を支援していくため、総合職業技術校等の応募者数及び就職者数の増に向けて取り組んでまいります。
5	⑦	いつも大変お世話になっております。細部まで作成されており、かつ、多くの部分を開示しており大変参考になりました。また、皆様はSNS(X)も活用されており積極的な情報発信をされているかと存じます。そういった広報活動に関する取り組み、その結果をもう少し記載するとよいかと思えます。近隣都道府県ではまだ行われていない取り組みも先んじてされているかと思えます。少しでも参考になれば幸いです。今後ともよろしくお願いたします。	B	県としても、様々な媒体を用いて職業訓練等の認知度向上を図ることは重要と考えており、いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標V及び活動指標に反映しています。

意見 番号	意見 区分	意見の要旨	反映 区分	県の考え方(案)
6	⑦	<p>公共職業訓練の実効性向上と、多様な就労形態を踏まえた制度運用の見直しについて下記を提案いたします。</p> <p>1 受講前段階における確認と連携の強化 職業訓練の目的や就職支援の位置づけについて、求職者が十分に理解したうえで受講判断ができるよう、訓練説明会の活用や事前確認を重視した運用とすること。 訓練受講のミスマッチを防ぐためハローワークと訓練校が連携し、就職意向や希望条件について丁寧なすり合わせを行うこと</p> <p>2 就職意欲や行動を踏まえた総合的な受講判断 制度上の要件のみでなく、早期就職に向けた意欲や行動状況も考慮した総合的な受講判断の考え方を整理すること</p> <p>3 訓練期間中の就職活動に関する共通認識の形成 職業訓練が就職を目的とした制度であることについて、入校時および訓練期間を通じて共通理解を促す仕組みを整えること</p> <p>4 多様な就労形態を踏まえた就職実績の評価 正規雇用に限らず、派遣就労や任期付き雇用などで働く人の割合も増加しており、雇用契約期間3か月以下の短期更新を繰り返す雇用形態も多い。一定期間の継続勤務が確認できる場合には、就職実績として評価する考え方を時代に合わせて改善する必要があるのではないか。理由として、公共職業訓練は、年齢を問わず再就職やキャリア形成を目指す県民にとって重要な制度であり、その効果を高めるためには、訓練内容だけでなく、制度運用や関係機関の連携の在り方も重要であると考えている。 受講者の就職意向や希望条件に幅がある中で、訓練制度の目的との認識に差が生じる場合がある。こうした差を小さくするためには、受講前段階での丁寧な説明や確認が不可欠である。 また、近年は年齢や生活状況に応じて、多様な就労形態を選択する人が増えており、こうした働き方は安定した雇用への重要なステップとなっている。 制度上の評価においても、実際の就労継続の実態を踏まえた柔軟な考え方が求められる。公共職業訓練が、真に就職を目指す県民にとって有効な支援となるよう、神奈川県とハローワークと訓練校が、より連携していくことが重要ではないだろうか。</p>	B	<p>県としても、求職者に対し職業訓練におけるミスマッチを防ぐことは重要と考えており、オープンキャンパスの個別相談や体験入校等により、訓練内容を理解した上で入校していただけるよう取り組んでいます。就職を目指す県民にとって有効な支援が行えるよう、ハローワーク等の関係機関との連携も含め、いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標Ⅲ及びⅤに反映しています。</p>
7	⑦	<p>第5 施策の展開 35ページとなっているが、34ページではないか 第8 付属資料編 1 計画策定までの経過は71ページとあるが、70ページではないか 2 職業能力開発促進法は72ページとあるが、71ページではないか</p>	A	<p>御意見の趣旨を踏まえ、当該箇所を修正しました。</p>
8	⑦	<p>細かいですが、 図表のフォントが他のページと異なる(全角 半角の違い) 図表5-5 は 図表5-5 図表5-6 は 図表5-6 が、統一されてよいと考える</p>	A	<p>御意見の趣旨を踏まえ、当該箇所を修正しました。</p>

意見番号	意見区分	意見の要旨	反映区分	県の考え方(案)
9	⑦	AIの進化等に伴う新しい技術に対応した情報関連分野や、高度な技能労働者の育成や継承等に対応したコースの充実など、今の課題に対応した計画だと思っておりますので、推進をしていってほしいと思います。	B	本計画に基づき、時代の変化に即した職業能力開発を推進してまいります。
10	⑦	成果目標として就職者数を掲げており、就職先まで一緒に考えていることが分かりますので、「社会人として必要な労働教育を関係部署と連携して取組んでいく」ということを、計画のどこかに記載いただきたいです。	A	御意見の趣旨を踏まえ、実施目標Ⅲの取組に反映しました。
11	⑦	習得した「スキル」をそれぞれの職場で活かすには、「人的資質の向上」が不可欠です。人生100年時代を働きぬくためには、「ヒューマンスキル/人間関係構築」の基本を身につけていることが「強み」となり、さらにその「スキル」を最大限に活かすポイントでもあります。 特に、「若者の職業能力」「中高年齢者の職業能力」「外国人材の職業能力」「在職者のリスクリング」においては、即戦力として活躍できるよう、具体的な演習等で体得しておく必要があると考えます。	B	県としても、一人ひとりに適した職業訓練等を実施し、多様な人材を育成していくことは重要と考えており、いただいた御意見の趣旨は計画中の実施目標Ⅱ及びⅢに反映しています。
12	⑦	17ページ上から8行目「・・・数は減少傾向にありますが・・・」→「・・・数は減少傾向にありましたが・・・」（「た」が落ちてます）	A	御意見の趣旨を踏まえ、当該箇所を修正しました。
13	⑦	24ページ「4 労働者を取り巻く状況」のうち「(6)外国人材の状況」のみ人数等の年次推移がないため数値があるのであれば掲載したほうが良いと思いました。(1)から読み進めていくうちに、各項目の数値の年次推移が記載されているため、(6)で急に年次推移がないことに唐突感を感じるとともに(同じ項目内の「県内の留学生」では推移が掲載されているため、余計に県内の外国人労働者数の年次推移がないことに違和感を感じてしまう)、外国人材に対する職業訓練の必要性・計画を記載するのであれば、年次推移(増えているのか減っているのか)を記載することは必要であると考えます。	A	御意見の趣旨を踏まえ、当該箇所の表を変更しました。
14	⑦	リスクリングは必要ですが、スキルとのマッチングが、長く働き続けるためにはより重要と考えます。	B	県としても、キャリア形成と合わせたスキルのマッチングも重要と考えており、いただいた御意見の趣旨は計画中的実施目標Ⅲに反映しています。